

基本情報

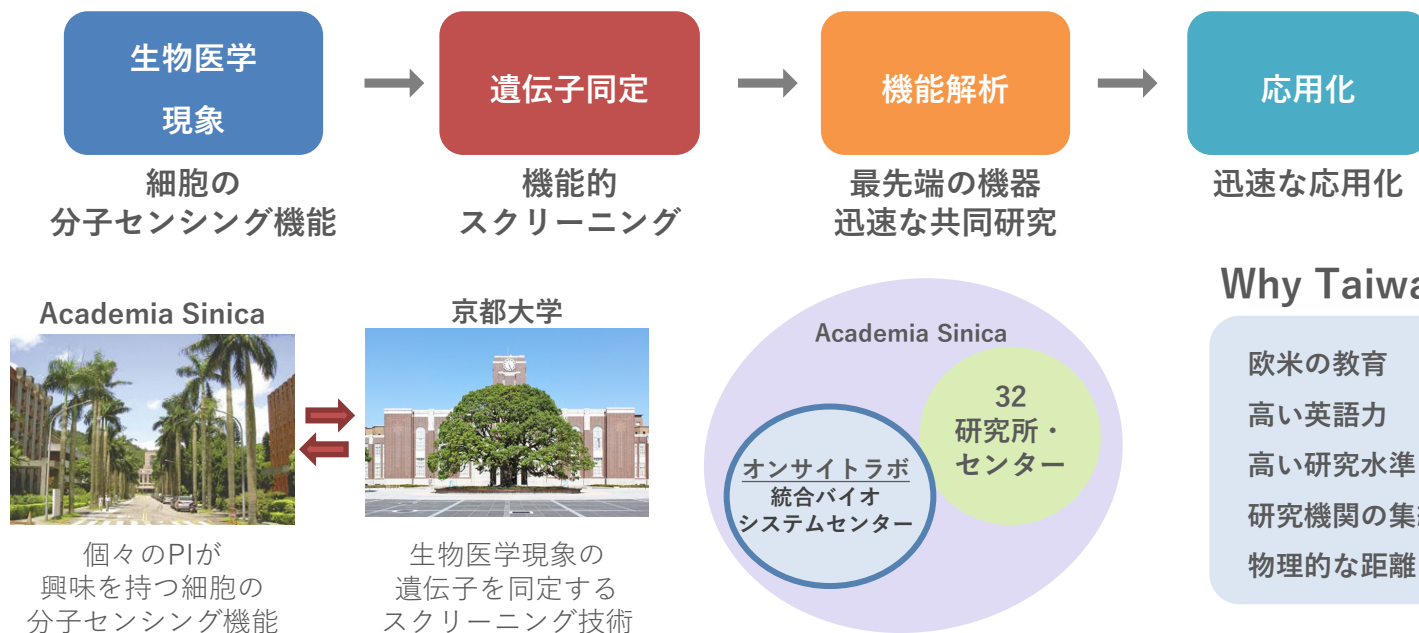
- ◆ 認定年度: 2019(令和元)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年12月
- ◆ 実施部局: 高等研究院物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)
- ◆ 相手方機関: Academia Sinica(台湾)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 相補的な研究技術・知識による最先端研究の加速
- ◆ 設置場所: Academia Sinica(台湾・台北)
- ◆ 活動内容: バイオ分野、化学分野における最先端研究を推進し、現地研究機関との連携拡大や留学生獲得を目指す。

活動による大学全体への波及効果

- 京都大学の台湾における窓口となる
 - 台湾の大学・研究所とのハブになる
 - 留学生による京都大学学生の活性化
 - 京都大学学生の国際化
- 高等研究院とAcademia Sinica, IBMSにおける国際共同研究(研究費の獲得)、国立台湾大学(NTU)を通じた優秀な留学生獲得、現地学生と京都大学学生との交流、TIGPを利用した国際共同学位(DD/JD)プログラムへの発展、現地企業、並びに日本企業との共同研究が期待される。
- Academia Sinicaは社会学系の研究所も多く擁するため文理融合の促進、並びに他部局も巻き込んだクロスバウンド型への展開も期待される。前年度同様台湾で構築したネットワークを全学に波及させたい(治験ネットワーク等で既に活用)。今年度はさらに、戦略的パートナーシップ校のNTUとの関係強化にも努めたい。

活動概要

融合研究による分子センシングに関わる遺伝子の同定とその機能解析



2025年度の主な活動実績

① Meeting Biomedical Translation Research Center

Academia SinicaがNational Biotechnology Research Parkにもつ、Biomedical Translation Research Centerにおいて、スタートアップとの協働に関して議論した。

② Symposium iCeMS International Symposium

Academia Sinicaの院長であるProf. James LiaoをPlenary Lectureのスピーカーとして迎え、シンポジウムを行った。

③ Seminar Academia Sinica, Prof. Fu-Tong Liu

Academia Sinicaの元副院長であり、Institute of Biomedical Sciences (IBMS)のFu-Tong Liu教授のセミナーを行った。

